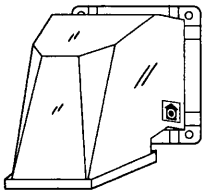
MITSUBISHI

三菱有圧換気扇用吸・排気形防火タイプウェザーカバー

（財団法人日本建築センター評定品）

ウェザーカバー形名	日本建築センター評定番号
QW-20SDH、QW-25SDH、QW-30SDH、QW-35SDH、QW-40SDH QW-50SDH、QW-60SDH	BCJ-Dp-431 （一般用）
QW-20SDHC、QW-25SDHC、QW-30SDHC、QW-35SDHC QW-40SDHC、QW-50SDHC、QW-60SDHC	BCJ-Dp-432 （厨房等高温場所用）

取付・取扱説明書



日本建築センター
防災性能評定品

●本製品は三菱電機株式会社製有圧換気扇との組合わせ使用について、財団法人日本建築センターの評定を受けています。

目　次

ページ

各部の名称と仕様 …… 2
警告表示の記号と意味 …… 3
[取扱説明]
- ●安全のためお守りください
- ●ご使用に当たって
- ●内部の定期的な清掃を
- ●アフターサービス

[取付工事説明] …… 4
- ●安全のためお守りください
- ●外壁面への取付例／取付け施工上のご注意 …… 5
- ●防火ダンパーの開放方法 …… 6
- ●温度ヒューズの取付方法
- ●試験運転の実施

[点検・清掃方法] …… 7
- ●点検・清掃の仕方
- ●網の取外し／防火ダンパーの開放
- ●確認／清掃方法 …… 8
- ●温度ヒューズのお求めなど

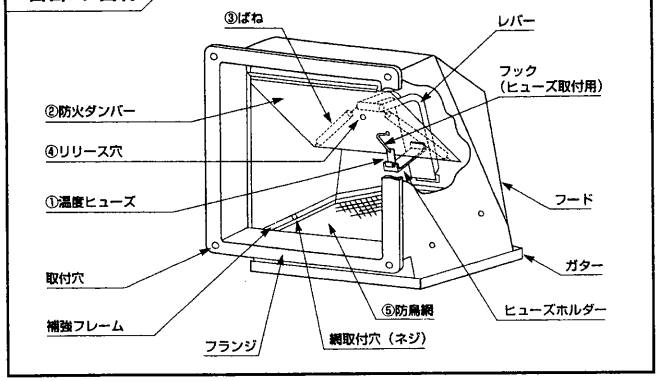
[お問合せ先]

ご使用になるお客様へ
- ●取付工事は専門業者様へご依頼ください。
- ●この取扱説明書はよくお読みになり、大切に保存してください。

取付工事店様へ
- ●取付工事前に、必ずこの取付・取扱説明書をお読みください。
- ●工事終了後は必ずこの説明書を、ご使用になるお客様へお渡しください。

三菱電機システムサービス株式会社

各部の名称

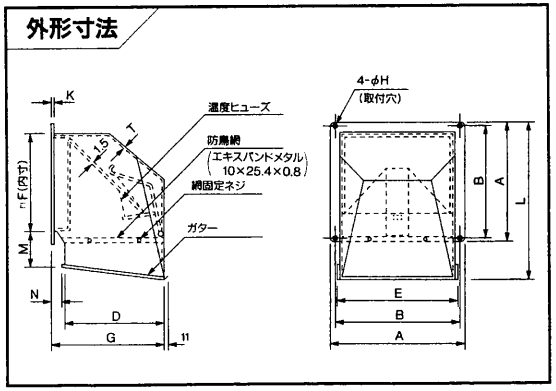


①温度ヒューズ　火災時、換気口を高温の空気が通るとその熱で溶断します。
②防火ダンパー　温度ヒューズ溶断後、換気口を閉鎖します。
③ば　　ね　防火ダンパーを閉鎖する方向に働きます。
④リリース穴　閉鎖した防火ダンパーを開けるときに用います。
⑤防　鳥　網　フード内への小動物や異物の侵入を防止します。

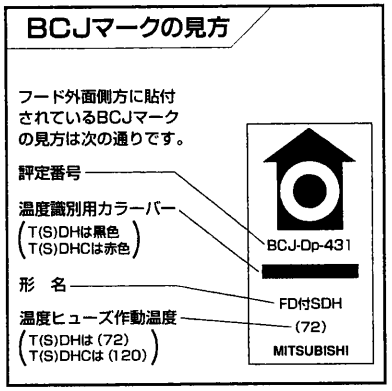
仕　様

形　名	材　質	表　面　色	標準装備	付　属　品	付属品材質
QW-○○SDH	SUS304-2B （ステンレス鋼）	ステンレス地金色 （ツヤなし）	防鳥網 エキスパンドメタル 10mm×25.4mm×0.8mm	72℃用温度ヒューズ	リン青銅 ハンダ部防錆塗装 済み
QW-○○SDHC				120℃用温度ヒューズ	

外形寸法



BCJマークの見方



外形寸法表　（単位:mm）

適用有圧換気扇	形　名 一般用	形　名 厨房等高温場所用	A	B	D	E	F	G	H	K	L	M	N	T	質量(kg)
20cm	QW-20SDH	QW-20SDHC	315	280	225	267	237	292	10	3.6	404	96	54	0.6	5.2
25cm	QW-25SDH	QW-25SDHC	365	330	260	317	287	327	10	3.6	471	109	54	0.6	7.0
30cm	QW-30SDH	QW-30SDHC	415	380	305	367	337	372	10	3.6	539	121	54	0.6	8.7
35cm	QW-35SDH	QW-35SDHC	484	434	350	426	396	422	15	3.6	628	141	59	0.6	10.9
40cm	QW-40SDH	QW-40SDHC	510	460	400	452	422	472	15	3.6	667	148	59	0.6	12.2
45・50cm	QW-50SDH	QW-50SDHC	610	560	490	552	522	562	15	3.8	803	173	59	0.8	18.9
60cm	QW-60SDH	QW-60SDHC	700	650	560	642	612	632	15	3.8	924	195	59	0.8	24.5

※シャッターとの共締めはできません（シャッターフレームをフード内に入れないでください。）

警告表示の記号と意味 表示と意味は、次のとおりとなっています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結び付く可能性があるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財等の損害に結び付くもの。
❗	安全確保のために、必ず実施する事柄。

安全のためお守りください

ご使用にあたって防火機能と安全を確保するため、次の点はお守りください。

⚠ 警告

燃焼設備の吸・排気には使用しない

本製品は密閉または半密閉の燃焼設備（給湯器、風呂釜など）の排気ダクトに使用できません。誤動作により、ダンパーが閉じて排ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

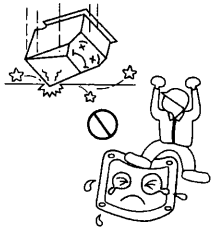
⚠ ご注意

低い位置へ取付けない

有圧換気扇と組合せて使用するときには、1.8m以下の高さに取付けないでください。回転している羽根などに接触し、けがのおそれがあります。

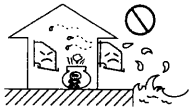
強い衝撃を与えないで

変形し、破損が生じると防火機能を損なうおそれがありますので、本製品に強い衝撃を与えないでください。



物をのせない。踏み台にしない

本製品の上に物を置かないでください。また本製品を踏み台にしないでください。へこみや歪みが生じると防火機能を損なうおそれがあります。
また落下などによってけがの原因となることがあります。



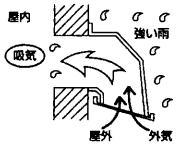
お願い

次の環境では腐食のおそれがあります

塩害・腐食環境（強酸・強アルカリ、および腐食性物質が常時湿潤している場所やふりかかる場所等）では腐食しやすくなりますので、このような場所への取付けは避けてください。

吸気・排気用です

本製品は吸気・排気用に設計されていますが、強い雨や強い外風があるとき、霧雨、降雪など気象条件によっては、屋内に雨水が浸入することがあります。このような場合には、吸気を停止するなどの対策が必要です。



ご使用にあたって 日常のご使用にあたっては、次の点にご注意ください。

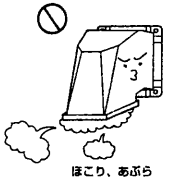
振動・音	●運転時に異常な振動や騒音の発生はないか。
損傷・さび	●外観に著しい錆はないか。大きなへこみ、歪みは見られないか。
ほこり	●ほこりや油脂で著しく汚損していないか。

内部の定期的な清掃を

●防火ダンパーの内部に、油脂・ほこりなどが付着すると、防火機構の作動不良の原因となります。3ヵ月間隔を目安に、防火ダンパー内部の清掃を販売店にご依頼ください。

アフターサービス

●アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは当社支店、サービスステーションへお申し付けください。



安全のためお守りください

取付工事を安全に行うため、また防火機能を確保するため、次の点はお守りください。

⚠ 警告

燃焼設備の排気には使用しないで

本製品は密閉または半密閉の燃焼設備（給湯器、風呂釜など）の排気ダクトに使用できません。誤動作により、ダンパーが閉じて排ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

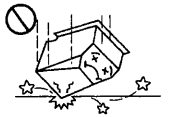
⚠ ご注意

防火ダンパーの取扱いに注意する

本製品は防火ダンパーの閉鎖力を強化しております。防火ダンパーはばねの力により急激に閉鎖します。意図しないときに閉まったりしないよう、作業中には必ず防火ダンパーを手で押えてください。手や指、腕をはさまれるとけがの原因となります。安定した足場を確保してください。

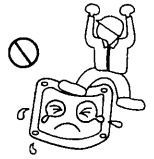
強い衝撃を与えないで

変形し破損が生じると、防火機能を損なうおそれがありますので、本製品に強い衝撃を与えないでください。



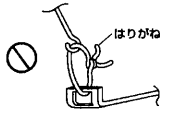
物をのせない。踏み台にしない

本製品の上に物を置かないでください。また本製品を踏み台にしないでください。へこみや歪みが生じると防火機能を損なうおそれがあります。
また落下などによってけがの原因となることがあります。



付属の温度ヒューズを取付けること

防火機構の作動不良の原因となりますので、必ず付属の温度ヒューズを取付けてください。また修理の際も必ず当社製の純正温度ヒューズを取付けてください。針金や他製品の温度ヒューズは使わないでください。



改造しないで

防火機構の作動不良の原因となりますので、改造しないでください。

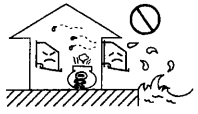
適用サイズ以上の有圧換気扇を使わない

適用サイズ以上の有圧換気扇と組合わせての使用は、防火機構の作動不良の原因となりますので行なわないでください。

お願い

作業に適した服装で行う

ウェザーカバーは薄板金属製品であり、製品の構造上、やむをえず一部鋭利な個所があります。作業中のけがを防ぐため、保護帽、長袖の作業服、安全靴、保護手袋を着用してください。

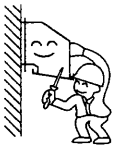


次の環境では腐食のおそれがあります

塩害・腐食環境（強酸・酸アルカリ、および腐食性物質が常時湿潤している場所やふりかかる場所等）では腐食しやすくなりますので、このような場所への取付けは避けてください。

点検しやすい場所へ

本製品の防災機器としてのはたらきを保つためには、定期的な点検がかかせません。本製品は点検しやすい場所に取付けください。



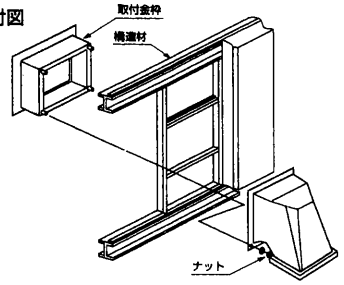
壁面への取付前に点検を

壁面への取付前に本製品を点検し、ねじのゆるみの他異常のないことを、お確めください。

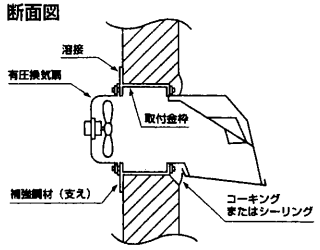
外壁面への取付例

①ALC（軽量発泡コンクリート）のとき

取付図

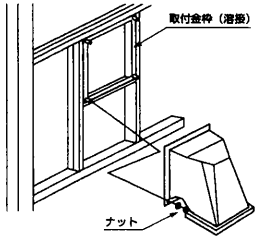


断面図

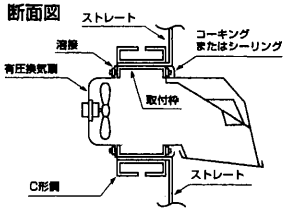


②軽量鉄骨のとき

取付図

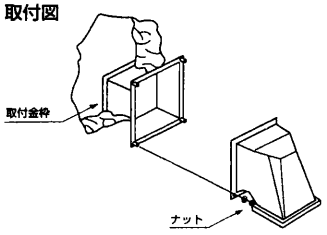


断面図

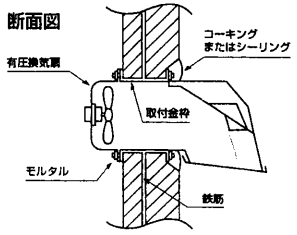


③RC（鉄筋コンクリート）のとき

取付図



断面図



取付施工上のご注意

次の部分は、わずかな隙間でも雨水侵入の恐れがありますので充分コーキングまたはシーリングを行って下さい。

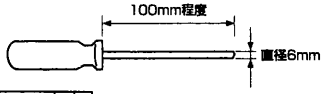
- ●防火タイプウェザーカバーのフランジと外壁との接合部分
- ●締め付けたあとの、取付ボルト、ナット
- ●取付金枠と外壁との接合部分
- ●その他降雨のとき、雨水が浸入する隙間

固定するボルト、ナットは、いずれもステンレス鋼のものを使用し、十分な強度をもつ壁面にM8またはM10以上のものを規定の本数使用して、強固に取り付ける。

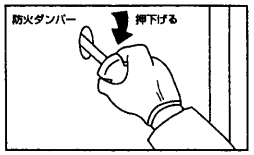
所要の取付強度が得られないので、「あと施工アンカー」は使用しない。

防火ダンパーの開放方法（屋内側より）

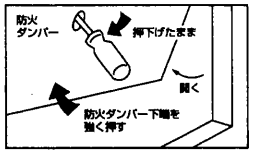
右図のような棒状工具をご用意ください



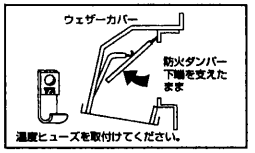
①工具の先端を防火ダンパーのリリース穴へやや下向き加減に差込む。



②工具を下方へつよく押下げる。



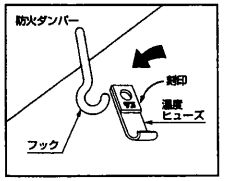
③工具を押下げたまま防火ダンパーの下端をつよく押す。（開いたら、工具は抜く）



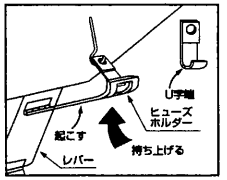
④温度ヒューズを取付けるまで防火ダンパーを支えること。

温度ヒューズの取付

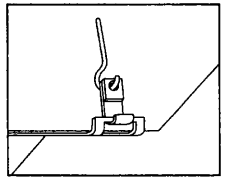
温度ヒューズは次のように取付けください



①防火ダンパーを支えたまま、フックへ温度ヒューズをひっかける。



②防火ダンパーを支えたまま、レバーのヒューズホルダーを起こし、温度ヒューズのU字端をヒューズホルダー先端にひっかける。

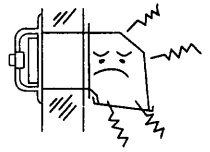


②防火ダンパーの下端をヒューズホルダーの上へ静かにのせてセット完了。

試験運転の実施

取付完了後、試験運転は必ず行ってください。

有圧扇を運転して、異常な振動や異音のないことをたしかめてください。



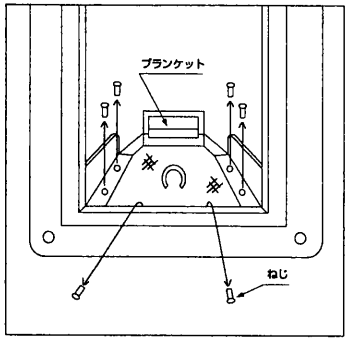
点検清掃の方法

点検・清掃の仕方 本製品のフード内側、防火ダンパー、防鳥網は3ヶ月を目安に点検してください。
各部の取付、取外しは、次の手順にて行ってください。

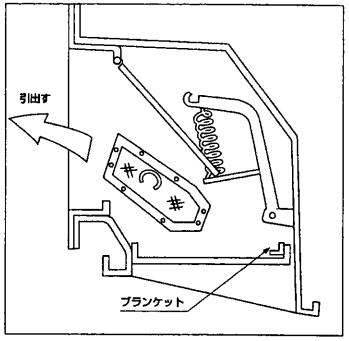
お願い
- 本製品から防鳥網を取外したままご使用になると、防雨性能が低下することがあります。
- 網の取付取外しのとき、ガターなどを変形させないでください。防雨性能が低下します。

屋内からの網の取外し

●次の手順で取外します。取付けは逆の順番で行います。



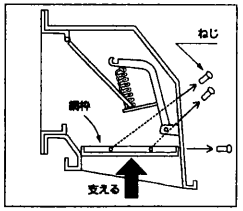
①網取付ねじを外して、リングを引いて網をブラケットから引き抜く。



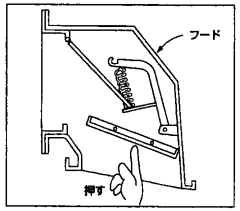
②網のリングを引き、網を引き出す。

屋外からの網の取外し

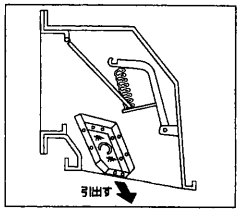
●次の手順で取外します。取付けは逆の順番で作業してください。



①網が落下しないように手で支えて網枠取付ねじを外す。



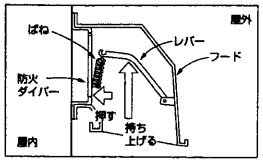
②下方より網枠を押し、フードより外す。



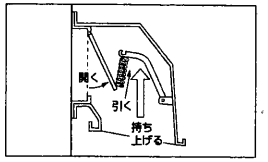
③斜めにして、網枠を引出す。

屋外からの防火ダンパーの開放

●防火ダンパーが閉鎖していて、屋外から防火ダンパーを開けるときは次の手順にて作業してください。



①防火ダンパーを押さえてから、レバーをゆっくり持あげる。



①防火ダンパーが開くので、防火ダンパーを押さえている力をゆるめて徐々に防火ダンパーを開放する。

確認してください

長い間ご使用の本製品は使用上支障がなくても、安全のため、点検・清掃時、各部の状態をご確認ください。

がたつき	●製品を取り付けたナットがゆるんでいませんか。 ●防火ダンパーは、がたつきなく正常に閉鎖しますか。
損傷・さび	●防火ダンパー、その他の部分に、ひずみや異常な傷がありませんか。 ●温度ヒューズ、防鳥網にさびはついていませんか。
ほこり	●フード内側、防火ダンパーにほこりが付着していませんか。

清掃方法

- フード・防火ダンパーへ付着した汚れ、油脂は、中性洗剤を湿らせたやわらかい布でふきとってください。
- 防鳥網も、同様の処置を施してください。洗ったあとは、日陰で十分干してください。
- 鋼板製品(TDH・THDC)の塗装部分の清掃には、シンナー・ベンジンなどは用いないでください。
- 温度ヒューズの交換については、P6の「温度ヒューズの取付方法」を参照ください。

温度ヒューズのお求めなど

- 温度ヒューズはお買いお求めの販売店、もしくは当社支店、サービスステーションへお申し付けください。
- ご使用の本製品に付属していた温度ヒューズとは別の作動温度の温度ヒューズを取付けないでください。(例.現在72℃温度ヒューズ使用→120℃温度ヒューズへ交換するなど)

お問合せ先(住所及び電話番号は変更になることがあります。)

北海道支店	〒060	札幌市中央区北二条東13-25	(011)221-8495
東北支店	〒984	仙台市若林区大和町2-18-23	(022)238-1761
東京機電支店	〒108	東京都港区海岸3-19-22	(03)3454-5511
相模原機器サービスステーション	〒229-11	相模原市宮下2-21-2	(0427)79-9711
千葉機器サービスステーション	〒260	千葉市中央区都町1289-1	(043)232-6101
神奈川機器サービスステーション	〒231	横浜市中区不老町3-12-5(下山関内ビル)	(045)664-0251
関東機器サービスステーション	〒330	大宮市吉野町2-173-10	(048)652-0378
新潟機器サービスステーション	〒950	新潟市天神2-137-108	(025)241-0301
北陸支店	〒920	金沢市小坂町北255	(076)251-0559
中部機電支店	〒461	名古屋市東区矢田南5-1-14	(052)722-7602
静岡機器サービスステーション	〒420	静岡市中田2-12-20	(054)287-8866
浜松機器サービスステーション	〒435	浜松市細島町6-5(林京西ビル)	(053)464-4961
関西機電支店	〒532	大坂市淀川区西中島6-1-15(アセンズ新大阪)	(06) 886-2210
部品営業課	〒567	茨木市豊原町10-18	(0726)41-0443
大阪機器サービスステーション	〒553	大坂市福島区海老江5-5-6	(06) 458-9728
堺機器サービスステーション	〒590	堺市九間町西1-2-29	(0722)29-5992
京都機器サービスステーション	〒601	京都市南区西九条東柳ノ内町47-1	(075)672-0144
神戸機器サービスステーション	〒652	神戸市兵庫区御所通り1-1-27	(078)651-0332
姫路機器サービスステーション	〒670	姫路市神屋町6-76	(0792)81-1141
中国支店	〒732	広島市南区大州4-3-26	(082)285-2113
倉敷機器サービスステーション	〒712	倉敷市連島町連島445-4	(086)448-5532
四国支店	〒760	高松市花園町1-9-38	(0878)31-3186
九州機電支店	〒816	福岡市博多区那珂1-4-28	(092)411-7400
北九州機器サービスステーション	〒806	北九州市八幡西区竹末2-7-3	(093)642-8825
長崎機器サービスステーション	〒850	長崎市神ノ島町1-343-1	(095)865-3667

三菱電機システムサービス株式会社
〒154 東京都世田谷区太子堂4-1-1(キャロットタワー)

1997年10月現在
W3970904